

## ウトロ海域の海鳥と海域利用のあり方について（案）

## 1．経緯

- 平成16年～平成21年　ウトロ海域におけるケイマフリ及び海鳥の生息調査実施  
平成17年　6月　知床地区旅客船安全対策等連絡会議の立ち上げ（～平成19年度）  
平成22年　3月　知床国立公園ウトロ海域懇談会の開催

## 2．検討の方向性

ケイマフリ等海鳥の分布や繁殖状況及び食性について基礎調査を行うことで減少要因や利用海域を明らかにする。

合同乗船体験や意見交換を通じて、地元関係者間での海域の利用や海鳥の保護に対する共通認識を確立する。

環境保全型事業の推進に向けた方策について検討する。

## 3．関係行政機関による今年度の取組予定

<環境省釧路自然環境事務所>

- ・ケイマフリ等海鳥の生息・生態調査の実施（平成22年5月～10月に実施）
- ・地元関係者・関係機関による合同乗船体験の実施（平成22年7月頃を想定）

## 4．個別会合における検討の進め方のイメージ

適正利用・エコツーリズム検討会議構成員である知床斜里町観光協会、知床小型観光船協議会、ウトロ漁業協同組合、斜里第一漁業協同組合、北見運輸支局、斜里町および構成員以外の関係者（道東開発観光、知床アウトドアガイドセンター）、観光利用及び海鳥に関する専門家等により検討を実施する。会議の議事進行は事務局が実施し、適正利用・エコツーリズム検討会議委員には可能な範囲でご参加いただくこととする。また、必要に応じて科学委員会の海域WGの専門家の助言も得ることとする。ウトロ海域の海鳥と海域利用のあり方に関する課題への対応は本個別会合に一任することとし、全体会合へ検討結果を報告するとともに、必要に応じて助言を受けることとする。

第1回ウトロ海域適正利用個別会合（平成22年7月頃を想定）

- ・合同乗船体験の結果を受けての意見交換
- ・海鳥の生息域の保全と環境保全型事業の推進に向けた意見交換

第2回ウトロ海域適正利用個別会合（平成22年10～11月頃を想定）

- ・今シーズンの海鳥生息・生態調査結果の報告
- ・環境保全型事業の推進に向けた各主体の役割と実施すべき事項の検討